

作成日：2015年3月12日
改定日：

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名：重金属類吸着材 MP-C

会社名：株式会社アステック

住所：〒670-0028

兵庫県姫路市岩端町107-4

担当部門：本社 環境エンジニアリング事業部

電話番号：079-298-6666

FAX 番号：079-298-6161

推奨用途：水質浄化材

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類対象外

分類の名称 : 分類対象外

物理化学的危険性

火薬類 : 分類対象外

可燃性/引火ガス : 分類対象外

可燃性/引火性エアゾール : 分類対象外

支燃性/酸化性ガス類 : 分類対象外

高压ガス : 分類対象外

引火性液体 : 分類対象外

可燃性固体 : 区分外

自己反応性化学品 : 分類対象外

自然発火性液体 : 分類対象外

自然発火性固体 : 区分外

自己発熱性化学品 : 区分外

水反応可燃性化学品 : 区分外

酸化性液体 : 分類対象外

酸化性固体 : 分類できない

有機過酸化物	: 分類対象外
金属腐食性物質	: 分類できない
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	: 区分外
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	: 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	: 分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
目に対する重篤な損傷性/目刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
標的臓器/全身毒性（単回暴露）	: 分類できない
標的臓器/全身毒性（反復暴露）	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	: 分類できない
水棲環境有害性（慢性）	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示：なし

注意喚起：なし

危険有害情報：なし

注意書き：なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：鉄塩・アルミニウム塩および活性炭素を主体とした混合製品

主な成分：Fe(OH)₃、Al(OH)₃、NaCl 及び C 等

4. 応急措置

吸入した場合：多量に吸入した場合は空気の新鮮な場所に移動させ医師の診断を受ける

皮膚に付着した場合：製品に触れた部分を水又は石鹼水で十分に流しながら洗浄する。

眼に入った場合：眼球を傷つける恐れがあるため、眼は擦らないで清浄な水で十分に洗浄し、
直ちに医師の診断を受ける・

飲み込んだ場合：清浄な水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：水噴霧、粉末消火薬剤

特定の消火方法：消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合には移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

消火を行う者の保護：消火作業の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏洩時の対策

人体に対する注意事項：処理作業の際には保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）
を着用し、粉じんを吸入したり、皮膚への付着を防止する。

環境に対する注意事項：シートで覆い、飛散拡大の防止を図る。河川等に流入しないように
注意する。

除去方法：粉じんが発生しないように拭き取り、乾燥した空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱

技術的対策：皮膚、眼との接触、粉じんの吸入を避けるため、保護具（防塵メガネ、防塵マスク、
保護手袋、保護衣）を着用する。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

注意事項：粉じんの発生を極力抑え、適切な集塵装置を設置する。ミストの発生を防ぐ。

作業中は飲食、喫煙をしない。

保管

適切な保管条件：酸化剤及び酸化性の強い物質との保管は避ける。

火源の近くに保管しない。

熱・火花・高温の物のような着火源から遠ざけること。

安全な容器梱包材料：密閉できる容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：粉じんが発生するような場所は、局所排気装置を設置する。

管理濃度：設定されていない。

許容濃度：日本産業衛生学会（2010年） TWA 3mg/m³

保護具

呼吸器用の保護具：防塵マスク

手の保護具：保護手袋（ケミカルグローブ）

眼の保護具：保護メガネ（ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護：保護衣（体の露出部分が少ない長袖作業服等）

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：粒状

色：黒色

臭い：無臭

pH：約4～8

溶解性：難溶解性

嵩密度：0.5～0.6

真密度：2.0～3.5 (20/20°C)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

引火点：データなし

発火点：500～600°C以上

爆発特性：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：通常取扱条件においては安定

反応性：空気中での高温加熱やオゾン、液体酸素などの強酸化剤との接触を避ける。

1 1. 有害性情報

許容濃度以上の粉じん温度条件以下で作業した場合、塵肺障害を起こすことがあるため、粉じん障害防止規定で規制されている。

その他の有害性情報はなし。

1 2. 環境影響情報

残留性/分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

生態毒性：データなし

1 3. 廃棄上の注意

漏洩時の処理及び取扱い及び保管上の注意の項の記載による。

廃棄する際は、関係法規に従って焼却、埋め立て等処分する。

1 4. 輸送上の注意

容器の損傷・破損などを確かめたうえ荷崩れ、水漏れ等の防止を行う。

1 5. 適用法令

消防法：火災予防条例準則の「指定可燃物」に入り（石炭、木炭類 10t 以上保管の場合に適用）

 法第 9 条の 3 による市町村条例に定める取扱基準に従う。

化学物質管理促進法（P R T R法）：該当しない

労働安全衛生法：粉じん障害防止規制、酸素欠乏称症防止規則

毒物及び劇物取締法：該当しない

水質汚濁防止法：該当しない

1 6. その他の情報

記載内容の取扱：記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱を対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。